

第9回新潟県連 健康づくりハイキングに参加して



事務局 星 敦司

7月8日(土)に新潟県で実施されました「第9回健康づくりハイキング」に大塚専務理事と参加させていただきました。今回の参加者は約130名でしたが、ご家族での参加者が多く、とても家族的な感じを受けることができました。当日は梅雨の合い間の晴れで30度を越える猛暑日となりましたが、雨が降らずに良かったです。

午前9時30分から開会式が始まり、当組合の和久井副理事長、税理士会新潟県連の上田副会長、新潟県協同組合の西片理事長、開催地である税理士会新津支部の皆川支部長の挨拶の後、渡部支部国保長の指導のもと準備体操をして、5グループに分かれて出発いたしました。

今回のハイキングコースは新津支部管内の新潟市秋葉区金澤地区にある「石油産業遺産」をめぐるコースです。ここにある矢代田油田は、江戸時代のはじめに発見された新津油田の一つです。明治初期に手掘りが始まり、明治の終わりごろに機械式での上総掘りとなりました。ここで採掘された石油はアスファルトとして道路の舗装用に使用されました。1グループ25名程度の参加者に対してお一人のボランティアガイドの方がついていただき、詳しい説明を聞くことができました。採掘現場は山の中にあり、歩いて見学すると、当時は道路も整備されていない山の中で作業をすることがとても大変だったことがとてもよくわかります。

平成8年まで約100年間採掘されたのですが、

現在は当時の施設を保存するとのことで、地元の保存会の方々と自治体とで協力して進めているようです。山から下りてきて、最後に「石油の世界館」を見学しましたが、当時の採掘の道具や模型等を展示し、とてもわかりやすく解説してありました。いろいろな施設を巡ったのですが、私が一番驚いたのは、一つのモーター(ポンピングパワー1号機)で22もの井戸をワイヤーで動力伝達をして採掘していたことです。約50馬力のモーターの動力をいかに大きく伝えるかということには、当時は大変な苦労があったと想像できます。しかしその努力があったからこそ、ここまで発展してきたと考えます。

約2時間程度の散策後に皆さんに再度集合していただき、閉会式を実施しました。その後「里山ビクターセンター」での昼食後に解散となりました。来年は小千谷支部での実施となることが閉会式にてご報告がありました。今からどの場所になるのか大変楽しみです。

最後に、新潟県連国保の役員の先生方をはじめ事務局の方々は事前準備が大変だったことと思います。大変お世話になりました。ありがとうございます。暑い日になりましたが、各グループにおいて責任者である支部国保長の先生方から、水分補給をしっかりとするようにと何回もお声がけがありました。そのこともあり、事故もなく終えられて何よりです。大変楽しいハイキングになりました。

